

20
26



学校法人 成田山教育財団

成田高等学校

— 建学の理念 —

成田高等学校は、
「成田山の宗教的使命の達成」
～真理を愛し、社会に奉仕する～

「地方文化の向上」

のために創設されました。

— 教育方針 —

この理念に基づいて

「行き届いた教育により生徒の全体的な発達を促す」

ことを教育目標として掲げ、以下の3点に特に留意しています。

- ・挨拶や服装をはじめとする、礼節を重んじたコミュニケーション能力の育成
- ・自発的に学習する自学自習の態度の育成
- ・文武に励むことを通じて成長し、社会に貢献できる人材の育成

— 成田高校が育てたい生徒 —

「己を知り、自ら思考・行動・発信するとともに、他者を受け入れ理解して、共に高め合える生徒」

— 努力目標 —

挨拶する／正装する／勉強する／運動する／掃除する

たくましい人間の育成

成田高等学校 校長 鈴木 隆英



国際化が一層深まる世界にあって、みなさんはそう遠くない未来に、多くの国の人々と話し合い、協議して仕事をしていくことになるでしょう。そんな中で、みなさんは「あなたはどう考えるのか?」「あなたはどう対応するのか?」と問われることになります。そういう意味で、まず第一に、自らの地域の文化と伝統への理解を深め、尊重し、郷土や文化を愛する心を育てていくことが重要であると考えます。それとともに、他の国や地域の文化と伝統に敬意をもち、尊重し、国際社会の一員としての責任を担い、責務を果たすことが求められます。みなさんは、本校での「文武両道」の生活を通じて、まず自分を知ることから始めてください。そして将来、たくましい人間として家族を守り、社会に奉仕し、国際社会に貢献する志を持った人物となってください。

本校は、みなさんがたくましい人間になり、夢と志を実現していくためのお手伝いをしていきます。皆さんの入学を待っています。

沿革

1887

(明治20年／10月3日)
成田山山主三池照鳳大僧正により、本校の前身である修業年限3ヵ年の成田英漢義塾が創立される。

1898

(明治31年／10月7日)
成田山山主石川照勤大僧正は英漢義塾を閉塾し、新たに修業年限5ヵ年の旧制私立成田中学校の設置許可を受ける。
この日をもって本校の創立記念日と定める。

1908

(明治41年／2月21日)
修業年限3ヵ年の私立成田山女学校が創立される。

1911

(明治44年／2月13日)
成田山女学校を閉校し、修業年限4ヵ年の私立成田高等女学校として設置許可を受ける。

1948

(昭和23年／3月31日)
学制改革に伴い、中学校、女学校を統合し、成田山文化事業財団を設置者とし、成田高等学校の設置認可を受ける。
同時に中学校を併設する。

1949

(昭和24年／3月31日)
併設中学校を閉校する。

1951

(昭和26年／1月19日)
私立学校法により、学校法人成田山教育財団の設置認可を受ける。

1966

(昭和41年／12月23日)
附属中学校の設置認可を受ける。

1967

(昭和42年／4月8日)
附属中学校を開校する。

1973

(昭和48年／3月15日)
附属小学校の設置認可を受ける。

1973

(昭和48年／4月7日)
附属小学校を開校する。

1998

(平成10年／10月8日)
創立100周年記念式典を挙げる。

2012

(平成24年／3月8日)
新校舎竣工

2013

(平成25年／7月3日)
新武道館竣工

2013

(平成25年／10月7日)
創立115周年記念式典を挙げる。

2023

(令和5年)
創立125周年



高等学校教育課程

(抜粋)

| 教科 | 科目 | 高1 (文理共通) | 文系 | | 理系 | |
|------|--------------|--------------|----|-------|----|-------|
| | | | 高2 | 高3 | 高2 | 高3 |
| 国語 | 現代の国語 | 2 | | | | |
| | 言語文化 | 3 | | | | |
| | 論理国語 | | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | 文学国語 | | 2 | 3 | | |
| | 国語表現 | | | | | |
| | 古典探求 | | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | ☆国語研究 | | | △2 | | |
| | ☆国語技能審査 | | | ※2 | | ※2 |
| 地理歴史 | 地理総合 | 2 | | | | |
| | 地理探求 | | ③ | | 3 | |
| | 歴史総合 | 2 | | | | |
| | 日本史探求 | | ③ | | | |
| | 世界史探究 | | 3 | | | |
| | ☆地理研究 | | | | | ④ |
| | ☆日本史研究 | | | ④ | | |
| | ☆世界史研究 | | | ④ | | |
| 公民 | 公共 | | 2 | | 2 | |
| | 倫理 | | | △2 | | |
| | ☆公共研究 | | | 3 | | |
| | ☆公民研究 | | | | | ④ |
| 数学 | 数学Ⅰ | 4 | | | | |
| | 数学Ⅱ | | 4 | | 4 | |
| | 数学Ⅲ | | | | | □4 |
| | 数学A | 2 | | | | |
| | 数学B | | 2 | | 3 | |
| | 数学C | | | | | □2 |
| | ☆数学研究 | | | □4 | | △4 |
| 理科 | 物理基礎 | 2 | | | | |
| | 物理 | | | | ③ | ③ |
| | 化学基礎 | 2 | | | | |
| | 化学 | | | | 3 | 3 |
| | 生物基礎 | 2 | | | | |
| | 生物 | | | | ③ | ③ |
| | ☆化学研究 | | 2 | | | |
| | ☆生物研究 | | | □2 | | |
| 体育健 | 体育 | 2 | 2 | 3 | 2 | 3 |
| | 保健 | 1 | 1 | | 1 | |
| 芸術 | 音楽Ⅰ | ② | | | | |
| | 美術Ⅰ | ② | | | | |
| | 書道Ⅰ | ② | | | | |
| | ☆書道技能審査 | | | ※2 | | ※2 |
| 外国語 | 英語コミュニケーションⅠ | 5 | | | | |
| | 英語コミュニケーションⅡ | | 4 | | 4 | |
| | 英語コミュニケーションⅢ | | | 4 | | 4 |
| | 論理・表現Ⅰ | | 2 | | 2 | |
| | 論理・表現Ⅱ | | | 2 | | 2 |
| | ☆英語研究 | | | △2 | | △2 |
| | ☆英語技能審査 | | | ※2 | | ※2 |
| 家庭 | 家庭基礎 | 2 | | | | |
| 情報 | 情報Ⅰ | | 2 | | 2 | |
| | 特別活動 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 総合的な探究の時間 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 合計 | | 35 | 35 | 31~37 | 35 | 31~37 |

1・2年次にほとんどの必修科目を履修します。また、生徒の進路希望に対応するために、2年次からの文理別授業を行い、現役合格を目指します。

※高入生と内進生(付属中からの内進者)は、3年間別クラス。

十分な授業時間と、放課後の特別活動の充実を図るため、週6日制を実施しています。また、総合的な探究の時間は学年職員だけでなく他の職員も、生徒の主体的な学びをサポートします。

※高1・2年は、火・木の第7校時に学力補充講座(英数)を実施。
 ※高3の3学期は、家庭学習制度を実施。

45分授業で実施。週6日制で原則1日6時間授業。1・2年生は水曜日のみ7時間授業。土曜日は4時間授業(3年生は特別講座)。

○は選択科目。いずれかを選択する。□と△はセットでそのどちらかのセットを選択。いずれも原則10名に満たない場合は開講されない場合がある。

※は検定2級所持者に3年次に単位が認定される。

☆の科目は学校設定科目。

※文部科学省の学習指導要領や大学入試の内容等の改定に対応するため変更する場合があります。

充実したカリキュラムで未来の夢に着実に近づく

それぞれの進路の志望に合わせたクラス編成を実施し、柔軟なカリキュラムにより着実に志望校合格を目指します。

特進a・進学コース

成績上位者による特進aクラスを2クラス編成します。習熟度別のクラスをつくることで、それぞれのクラスに合わせた教科指導や進学指導を行い、生徒たちが自らの目標を設定する為のアドバイスをしっかり行っていきます。

ほぼすべての生徒が大学進学を主とした高等教育機関への進学を希望していることから、その希望をかなえ、かつ研究活動において十分能力を発揮すべく学力の定着とともに、現代の社会で必要とされている様々な能力の向上を目指していきます。積極的に外部の企業や各界で活躍する卒業生の協力を得ながら、教員と生徒がともに学びつつ様々なスキルを身に付けていきます。

生徒達は以下の3つの能力の向上を目標とした取り組みを行っています。

①知識の確実な習得

知識の習得は、人がものを考え仕事をし社会的生活を営んでいく上で依然として重要です。社会で起きていることは複雑であり、克服・解決するには幅広い知識と教養が求められます。高校での教科は全ての基礎にあたるため、その重要性を理解したうえで意欲的に学び十分な定着を目指します。テストだけでなく、総合的な探究の時間で横断的・学際的な学びを通して知識の理解、習得を目指します。

②知識を操作する能力の向上

この社会を力強く生きるために、知識を操作する能力(活用や探究、問題解決)の向上を目指します。そのためにiPadや校内Wi-Fiの高速ネットワーク環境などを活用した様々なコンテンツを利用した授業を展開します。そこでは実社会とのつながりを意識したコンテンツを提供していきます。

具体的には日常の授業だけでなくWebを活用した学習としてスタディサプリや駿台サテネットなど学校外の有用なコンテンツの受講やGoogle Scholar・CiNiiなどの学術論文検索、そして4万冊を超える蔵書のラーニングセンターなど活用する場を豊富に用意しております。

③知識を利用し集団で活動する能力の向上

この能力なしには、仕事を含めた社会的役割を十分果たせるとは言えない時代になりました。何事にも主体的に取り組み、多様性を尊重し、他者と協働するためのチームワーク、コミュニケーション能力を備えた人材の育成を目標としていきます。

自分の蓄積してきた知識を生かしつつ、総合的な探究の時間や卒業研究での実験・社会調査活動や各教科での課題研究発表、修学旅行や見学旅行でのフィールドワーク等を通して自分だけでは解決できない事柄を他者と協働して取り組む重要性を知り、コミュニケーション能力の向上と持っている能力を最大限に発揮できるよう取り組みます。



令和7年度入試大学合格者数

| 国公立大学 計44(40) | |
|---------------|--------|
| 東京大学 | 1(0) |
| 一橋大学 | 1(1) |
| 北海道大学 | 1(1) |
| 東京科学大学 | 1(1) |
| 東京外国語大学 | 1(1) |
| 筑波大学 | 1(1) |
| 千葉大学 | 11(11) |
| お茶の水女子大学 | 1(1) |
| 埼玉大学 | 2(2) |
| 東京都立大学 | 1(1) |
| 東京学芸大学 | 1(1) |
| 横浜国立大学 | 1(1) |
| 横浜国立大学 | 1(1) |
| 茨城大学 | 2(2) |
| 東京海洋大学 | 1(1) |
| 信州大学 | 2(2) |
| 愛媛大学 | 1(1) |
| 高崎経済大学 | 1(1) |
| 鹿児島大学 | 2(1) |
| 秋田大学 | 1(0) |
| 奈良女子大学 | 1(1) |
| 静岡大学 | 1(1) |
| 岩手大学 | 1(1) |
| 金沢大学 | 1(1) |
| 宮崎公立大学 | 1(1) |
| 北九州市立大学 | 1(1) |
| 神戸市立外国語大学 | 1(1) |
| 釧路公立大学 | 1(1) |
| 秋田県立大学 | 1(1) |
| 秋田公立美術大学 | 1(0) |

主要指定校

| 私立大学 計925(891) | |
|------------------|---------|
| 早慶上理 計44(37) | その他私立大学 |
| 早稲田大学 | 11(10) |
| 慶應義塾大学 | 9(8) |
| 上智大学 | 5(5) |
| 東京理科大学 | 19(14) |
| GMARCH 計127(123) | |
| 学習院大学 | 16(15) |
| 明治大学 | 44(41) |
| 青山学院大学 | 10(10) |
| 立教大学 | 18(18) |
| 中央大学 | 20(20) |
| 法政大学 | 19(19) |
| 成蹊大学 | 5(5) |
| 成城大学 | 5(5) |
| 明治学院大学 | 10(9) |
| 獨協大学 | 8(7) |
| 國學院大學 | 9(8) |
| 武蔵大学 | 6(6) |
| 日本大学 | 95(92) |
| 東洋大学 | 36(36) |
| 駒澤大学 | 15(15) |
| 専修大学 | 10(10) |
| 芝浦工業大学 | 22(21) |
| 東邦大学 | 20(20) |

| 令和7年度入試の募集者数 | |
|--------------|----|
| 早稲田大学 | 1 |
| 東京理科大学 | 9 |
| 明治大学 | 3 |
| 青山学院大学 | 2 |
| 立教大学 | 5 |
| 中央大学 | 1 |
| 法政大学 | 4 |
| 学習院大学 | 4 |
| 成蹊大学 | 2 |
| 成城大学 | 2 |
| 明治学院大学 | 3 |
| 日本大学 | 10 |
| 東洋大学 | 6 |
| 駒澤大学 | 1 |
| 東邦大学 | 12 |

※()内は合格者数のうち現役生その他の合格実績に関しては本校HPをご覧ください。
 ※指定校推薦は毎年新たに募集人数が変わります。こちらに記載された大学は変更の可能性もあります。
 また、上記の大学も学部によっては募集が無いこともあります。

他多数

進路選択サポート

一人ひとりに合った進路実現

1 早期から将来への見通しを持たせる

生徒との二者面談および保護者面談を計画的に行い、一人ひとりに合った進路指導を行います。また、卒業後のことを意識するよう、高1から全員が大学のオープンキャンパスに行くように指導します。

2 学習意欲を維持するための仕掛け

外部から講師を招いての進学講演会や進路に関する学年集会を節目に行い、徐々に「進路実現のために努力する集団」を形成します。また、タブレット端末でスケジュールを主体的に立てることをサポートします。

3 先輩との交流を通して将来像を持たせる

1・2年生に対して大学に合格した3年生が大学合格までの道のりを話す「大学合格報告会」など、先輩や卒業生との関わりの中で進路について考える場を提供します。卒業生の体験談をまとめた「進路のしおり」も毎年発行しています。

4 最後まで学校が教員全体でサポート

普段より生徒の学力や進路の希望を考慮して、担任や進路指導部を始め全ての教員が持っている経験や情報を提供しサポートします。生徒の納得のいく進路の実現を目指し、出願に関するアドバイスを入試直前までし続けます。

学力向上サポート

国公立・難関私大に通じる学力養成

1 高3への手厚い指導

土曜の授業に替わり、土曜講座(希望制)を開講します。数ある講座の中から自由に選ぶことができます。また、家庭学習に入る3学期にも、国公立個別(二次)試験対策など、最後まで個別に指導していきます。

2 夏季講座・冬季講座

長期休業中は数多くの講座から自分に合った内容、レベルの講座を選んで無料で受講できます。学力に差が出やすい休業を有効に使います。特に夏季講座は学年に関係なく受講できる講座がたくさんあります。

3 映像講座を用いた本格的な学力養成

予備校等の映像講座を利用して、大学入試突破のための学力養成を目指します。多種多様な講座で基本事項の確認から大学入学共通テスト、二次・私大・難関大対策まで受験に必要な応用力・実践力の養成を目指します。

4 外部模試の徹底した有効活用

年間4～5回の外部模試で定点観測を行います。また、それに伴う対策講座、データ分析、事後指導、弱点克服講座など、模試を「受けっぱなし」にさせずに指導します。



入学から卒業まで、あなたに寄り添う進路指導プログラム

あなたが一番輝ける道を見つけるため、
圧倒的な情報量を持つ教員達が共に考える

あなたの夢を現実に近づけるため、
緻密な受験戦略であなたを伸ばす

進路選択サポート

入学

学力向上サポート

| | | | |
|-----|--------------------------------------|-------------------------------------|--|
| 1年 | 1学期 | 5 生徒個別面談 進学講演会 進路指導(選択科目について) | スタディサポート(ベネッセ) 4 |
| | | 6 進学講演会 | 総合学力テスト(ベネッセ) 6 |
| | 6月 文理等選択科目調査(予備調査) | | |
| | 夏休み | 8 オープンキャンパス見学 保護者面談 | 全統模試(河合塾) 夏季講座 8 |
| | 2学期 | 9 進路調査 | スタディサポート(ベネッセ) 9 総合学力テスト(ベネッセ) 10 |
| | | 11月 文理等選択科目調査(最終決定) | |
| 3学期 | | | 総合学力テスト(ベネッセ) 1 |
| 2年 | 4月 文理型別授業開始 | | |
| | 1学期 | 5 生徒個別面談 6 進学講演会 | スタディサポート(ベネッセ) 4 総合学力テスト(ベネッセ) 6 |
| | | 6月 3年次理社等選択科目調査(予備調査) | |
| | 夏休み | 8 オープンキャンパス見学 保護者面談 | 夏季講座 8 全統模試(河合塾) 8 |
| | 2学期 | | 総合学力テスト(ベネッセ) 10 |
| | | 11月 3年次理社選択科目調査(最終決定) | |
| 3学期 | 2 進路指導(就職・専門学校:希望者) 3 卒業生による合格報告会 | 共通テスト対策模試(河合塾) 2 | |
| | | | |
| 3年 | 1学期 | 5 三者面談(志望校を絞り込む) 6 進学講演会 | 全統マーク模試(河合塾) 4 特別講座開始(平日放課後、土曜①~④) 5 全統記述模試(河合塾) 6 |
| | | | |
| | 夏休み | | 夏季講座 8 |
| | 2学期 | 9 大学入学共通テスト説明会 | マーク模試(駿台ベネッセ) 記述模試(駿台ベネッセ) 10 |
| | | 大学入学共通テスト出願 11月 志望校決定(願書取り寄せ等) | |
| | 12 一般入試受験者指導(本人・保護者) | | ※この他にも希望者対象模試を実施 |
| 3学期 | 1 共通テスト自己採点・受験者個別指導 | | |
| | 1月~ 志望校への出願 大学入試等・進路決定 | | |
| | | 卒業 | |

※年度によって変更あり

成

四季を鮮やかに彩る さまざまな学校行事は心に残る思い出に

友とともに、思い切り笑ったり泣いたり。行事で深まる団結や友情も、高校時代の輝かしい思い出になります。



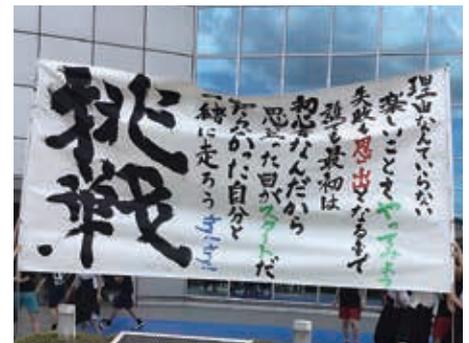
全校野球応援



海外語学研修



体育祭



葉牡丹祭(文化祭)



海外語学研修



体育祭



葉牡丹祭(文化祭)



葉牡丹祭(文化祭)



葉牡丹祭(文化祭)



葉牡丹祭(文化祭)



修学旅行(沖縄)



修学旅行(沖縄)



卒業研究発表会



卒業証書授与式

主な学校行事

4 Apr

- ・始業式 ・入学式
- ・授業参観
- ・スタディセミナー

5 May

- ・中間考査
- ・三者面談(3年)
- ・生徒個別面談(1・2年)

7 Jul

- ・期末考査
- ・全校野球応援
- ・海外語学研修(1・2年希望者、カナダ13日間)
- ・終業式
- ・夏季講座(全学年希望者)

8 Aug

- ・スタディセミナー
- ・夏季講座(希望者)

9 Sep

- ・始業式
- ・葉牡丹祭(文化祭)
- ・体育祭

10 Oct

- ・創立記念日
- ・芸術鑑賞会
- ・中間考査

11 Nov

- ・修学旅行(2年、沖縄)
- ・学年行事(1年)

12 Dec

- ・期末考査
- ・終業式
- ・スタディセミナー

1 Jan

- ・始業式

2 Feb

- ・卒業研究発表会(3年、進路決定者)

3 Mar

- ・3年生を送る会 ・卒業証書授与式
- ・学年末考査(1・2年)
- ・海外語学研修(1・2年希望者、アメリカ12日間)
- ・修了式

整った施設環境で、思う存分打ち込む部活動

文武両道を目指す本校は、部活動も盛んです。

学術部7、文化部が11、運動部が15の計33の部活動と2つの同好会が活動し、各分野で輝かしい成績を残しています。



野球部



陸上競技部



ソフトテニス部



水泳部



柔道部



剣道部

令和6年度 主な実績

運動部

野球部

- 全国高等学校野球選手権大会
千葉県予選 ベスト16

陸上競技部

- 全国高校駅伝 女子の部出場
- 関東高校駅伝競走大会 女子4位、男子20位
- 県総体
男子総合3位、女子総合2位
女子三段跳 大会新記録
- 関東大会 男子総合6位、女子総合8位
- インターハイ
男子4×400mR6位 / 女子400mH5位
女子三段跳7位
- 県新人大会 男子総合2位、女子総合2位
- 国民スポーツ大会
少年男子A棒高跳5位 / 少年女子A300mH5位
少年女子共通三段跳第5位
- 第18回U18 / 第55回U16陸上競技大会
U16男子三段跳8位 / U18女子300mH3位
- 日本室内陸上競技大阪大会
U20男子棒高跳5位 / U20女子三段跳6位

水泳部

- 県総体 男子総合3位、女子総合7位
- 関東大会 個人9種目 / リレー6種目出場
- インターハイ 男子400mリレー出場
- 県新人大会 男子総合3位
- 日本選手権OWS男子5km 出場

剣道部

- 千葉県私学校剣道大会 女子団体2位
- 千葉県高等学校東部地区大会
女子個人優勝・準優勝

ソフトテニス部

- インターハイ 出場
- 県総体 個人ベスト8 / 団体ベスト16
- 県新人大会 女子団体準優勝 / 個人戦準優勝
- 千葉県高校選抜大会 女子団体優勝
- 関東高校選抜大会 女子団体戦出場

弓道部

- 全国高等学校弓道選抜大会 男子団体出場
- 県新人大会 男子団体優勝
- 関東高校選抜大会 男子団体準優勝

ダンスドリル部

- MISS DANCE DRILL TEAM USA (世界大会)
KICK・オープンダンス部門優勝
審査員特別賞受賞
- 全国高等学校ダンスドリル選手権大会
KICK部門優勝 (世界大会進出)
- 全国高等学校ダンスドリル冬季大会
SONG POM部門出場
- 東日本中学校・高等学校ダンスドリル競技会
SONG POM部門優勝
- 秋季関東大会
SONG/POM部門 全国大会出場権獲得

男子バレーボール部

- 関東大会県予選 ベスト32
- 県総体 ベスト32
- 関東私学選手権大会グループB 予選リーグ1位
- 県新人大会 ベスト32

山岳部

- 県総体 男子6位、女子2位
- 関東大会 男女出場



ダンスドリル部



バスケットボール部



弓道部



バレーボール部



卓球部



音楽部



サッカー部



競技かるた部



軽音楽部



放送部

学術・文化部

クイズ研究部

- QuizKnock貸しますプロジェクト参加 (本校にて番組撮影)

音楽部

- 東京ディズニーリゾート ドリーマーズ・オン・ステージ参加
- 日本クラシック音楽コンクール 本選大会出場
- 千葉県吹奏楽コンクール 第7位
- 全国高校選抜オーケストラフェスタ 出場

競技かるた部

- 全国高等学校総合文化祭 2名出場

社会科学研究部

- 全国高等学校総合文化祭 地理・産業部門 最優秀賞

書道部

- 全日本高校・大学生書道展 優秀賞

文芸部

- 千葉県高校生文芸部誌大会 専門部会賞(全国大会進出)

放送部

- 全国高等学校総合文化祭 アナウンス部門出場
- NHK杯全国高校放送コンテスト 全国大会 アナウンス・朗読部門出場

自然科学部

- 高校生バイオサミットin鶴岡 決勝戦進出
- 日本金属学会・高校生高専学生ポスター発表 優秀ポスター賞
- 日本分子生物学会年会・高校生発表 口頭発表
- 化学クラブ研究発表会 口頭発表
- ※その他全国の発表会に多数出場

その他

- 第10回高校生国際シンポジウム ビジネス・観光分野 最優秀賞

その他の部活動(令和7年4月現在)

- (運動) 硬式テニス部、空手部
- (学術) 美術部、英語部、社会科学研究部、書道部、家庭科部
- (文化) 文芸部、新聞部、演劇部、写真部、華道部、茶道部、インターアクト部、クイズ研究部、自然科学部
- (同好会) 将棋同好会、コンピュータ同好会

生徒の自主性を育む施設も充実

広々とした学習スペースを備えたラーニングセンターや
全天候型トラックをはじめとするさまざまな運動設備など、文武両道を支える多彩な施設が揃っています。



校舎の建築理念

文武両道の校風のもと、生徒たちが共に支え合い切磋琢磨する学舎として、新時代を担う人材の育成を目指します。

[創造] ラーニングセンターを中心とした知的創造を促す校舎

[交流] コミュニケーションを高める空間構成

[連携] 中高一貫教育としての連携を促す空間構成

[調和] 伝統・環境配慮・更新性・安全性を重視した将来を見据えた校舎



人工グラウンド



柔道場(武道館)



剣道場(武道館)



コンピューター教室



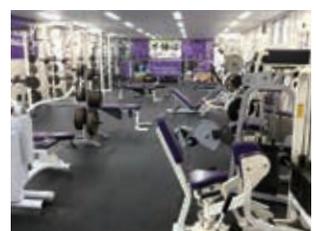
理科教室



調理教室



視聴覚教室



野球部トレーニングルーム



講堂兼体育館

講堂はバスケットコート2面分の広さがあり、528席の電動式観覧席を備えています。舞台奥には高さ4mの不動明王が祀られており、近代的かつ仏教校としての特徴のある施設になっています。



ラーニングセンター

40,000冊を超える蔵書を誇るラーニングセンターには、インターネット環境の整ったパソコンも設置しており、多くの生徒が自由に読書や試験前の勉強に励んでいます。



ラーニングセンター前ホール

ラーニングセンターの前にはカフェのような雰囲気のあるホールがあり、試験前の放課後には、グループ学習の場として使う生徒達で賑わいます。



グラウンド

400mトラックのある全天候型グラウンドは体育の授業や陸上部の練習、体育祭に使用されています。観覧席もあり、体育祭を見学にくる保護者の方にも開放しています。



作教室

茶室、水屋、日本間の3室を備える作教室では、華道部、茶道部が活動しています。日本間の障子を開けると、外には石庭の豊かな景色が広がります。



弓道場

約1,200㎡の敷地内に部室や用具倉庫が完備されています。矢道は芝生が整備され、10人立の近的場・看的表示付きの充実した環境で大会の開催も可能です。

校内案内図



周辺施設案内図





校章に配されている「葉牡丹」の色である紫を、濃淡で使用した制服です。優雅、品性高雅を象徴する「葉牡丹」の紫と、現代的なタータンチェックのスカート、落ち着いた色のジャケットが、高潔優雅な成田高校らしさを醸し出しています。女子生徒はスラックスを選択でき、夏服は男女共にポロシャツを選択できるようになりました。

ブラウスは白とラベンダーの2種類、リボンは3種類あります。



一日の過ごし方

授業に部活に、友だちとおしゃべり、かけがえのない高校生活を、毎日楽しみながら過ごしています。



月～金曜日

| | |
|-----------------|---------------------------------------|
| 7:00 | ラーニングセンター開館 |
| 8:35 - (8:45) | HR |
| 8:50 - 9:35 | 第1校時 |
| 9:45 - 10:30 | 第2校時 |
| 10:40 - 11:25 | 第3校時 |
| 11:35 - 12:20 | 第4校時 |
| 12:20 - 13:05 | 昼休み |
| 13:05 - 13:50 | 第5校時 |
| 14:00 - 14:45 | 第6校時 |
| 14:50 - 15:05 | 終礼・清掃 |
| 15:10 - (15:55) | 第7校時 <small>(平常の授業で7校時はありません)</small> |
| 19:00 | ラーニングセンター終了 |

土曜日

| | |
|---------------|-------------|
| 7:00 | ラーニングセンター開館 |
| 8:35 - (8:45) | HR |
| 8:50 - 9:35 | 第1校時 |
| 9:45 - 10:30 | 第2校時 |
| 10:40 - 11:25 | 第3校時 |
| 11:35 - 12:20 | 第4校時 |
| 12:25 - 12:40 | 終礼・清掃 |
| 15:00 | ラーニングセンター終了 |

●平日の平日日課における
ラーニングセンター(自習室兼図書館)
利用時間は、7:00～19:00

- ・水曜日 第5校時 LHRを実施
- ・毎週土曜日は授業を実施
- ・学力補充講座(指名制、数学、英語)
火曜日、木曜日 第7校時

在籍者数

(令和7年4月1日現在)

| | | |
|-----|-----|-----|
| 1年 | 男子 | 180 |
| | 女子 | 127 |
| | 計 | 307 |
| 2年 | 男子 | 192 |
| | 女子 | 127 |
| | 計 | 319 |
| 3年 | 男子 | 187 |
| | 女子 | 163 |
| | 計 | 350 |
| 男子 | 女子 | 計 |
| 559 | 417 | 976 |

市町村別在籍者数

(令和7年4月1日現在)

| 千葉県 | | | 茨城県 | | | | |
|------|-----|------|-----|--------|-----|-----|---|
| 成田市 | 196 | 習志野市 | 29 | 東庄町 | 6 | 河内町 | 2 |
| 富里市 | 45 | 船橋市 | 24 | 銚子市 | 2 | 稲敷市 | 2 |
| 佐倉市 | 124 | 市川市 | 8 | 匝瑳市 | 12 | 潮来市 | 3 |
| 酒々井町 | 31 | 市原市 | 12 | 旭市 | 12 | 取手市 | 1 |
| 栄町 | 10 | 我孫子市 | 17 | 芝山町 | 7 | 神栖市 | 6 |
| 印西市 | 48 | 柏市 | 3 | 山武市 | 19 | | |
| 四街道市 | 58 | 松戸市 | 6 | 横芝光町 | 8 | 東京都 | 2 |
| 八街市 | 23 | 鎌ヶ谷市 | 4 | 東金市 | 5 | | |
| 白井市 | 8 | 香取市 | 26 | 九十九里町 | 1 | | |
| 千葉市 | 139 | 神崎町 | 4 | 大網白里市 | 4 | | |
| 八千代市 | 54 | 多古町 | 9 | 千葉県その他 | 6 | | |
| 高校合計 | | | | | 976 | | |

よくあるご質問

Q. 学費について教えてください。

A. 入学時の納入金等は下記のとおりです。このほかに学年によって異なりますが、教材費等が別途必要になります。

※授業料等は、入学後に変更されることがあります。

入学時納入金

| 入学金 | 施設維持費 | PTA入会金 | 校友会入会金 | 計 |
|----------|----------|--------|--------|----------|
| 120,000円 | 100,000円 | 1,000円 | 1,000円 | 222,000円 |

※別途タブレット端末代(設定管理費・保証・アプリ代を含む)。

毎月の納入金等(令和8年度予定)

| 授業料 | 施設設備費 | 実験実習費 | 図書費 | 冷暖房費 | 校友会費 | PTA会費 | 同窓会費 | 積立金 | 計 |
|---------|--------|-------|------|--------|--------|--------|------|---------|---------|
| 30,000円 | 7,600円 | 400円 | 200円 | 1,000円 | 2,000円 | 2,000円 | 100円 | 15,000円 | 58,300円 |

※令和8年度について変更がある場合はHP上に掲載いたします。

Q. 奨学金制度はありますか？

A. 本校の奨学金制度として、毎年各学年若干名の成績優秀者を選び、奨学金の給付(年間12万～24万円)や入学金の免除がなされます(特別奨学金制度)。また、外部団体等が行っている育英資金の奨学金制度を紹介しています。

Q. 携帯電話を校内に持ち込むことはできますか？

A. 携帯電話の持参は緊急時の対応等を目的に許可制で認めていますが、生徒が持参した携帯電話は、朝のホームルーム時にクラス担任が回収し、帰りのホームルーム時に返却するようにしています。

Q. 海外へ行く機会はありますか？

A. 希望者対象で、カナダ(7月)・アメリカ(3月)での語学研修を行っています。それぞれ2週間程度のプログラムの中で、現地の文化を学び、英語力の向上を図ります。将来語学を生かした進路を考えている生徒には、参加を奨励しています。

Q. 受験状況について教えてください。

A. 本校の令和7年度入試の受験状況は下記の通りです。

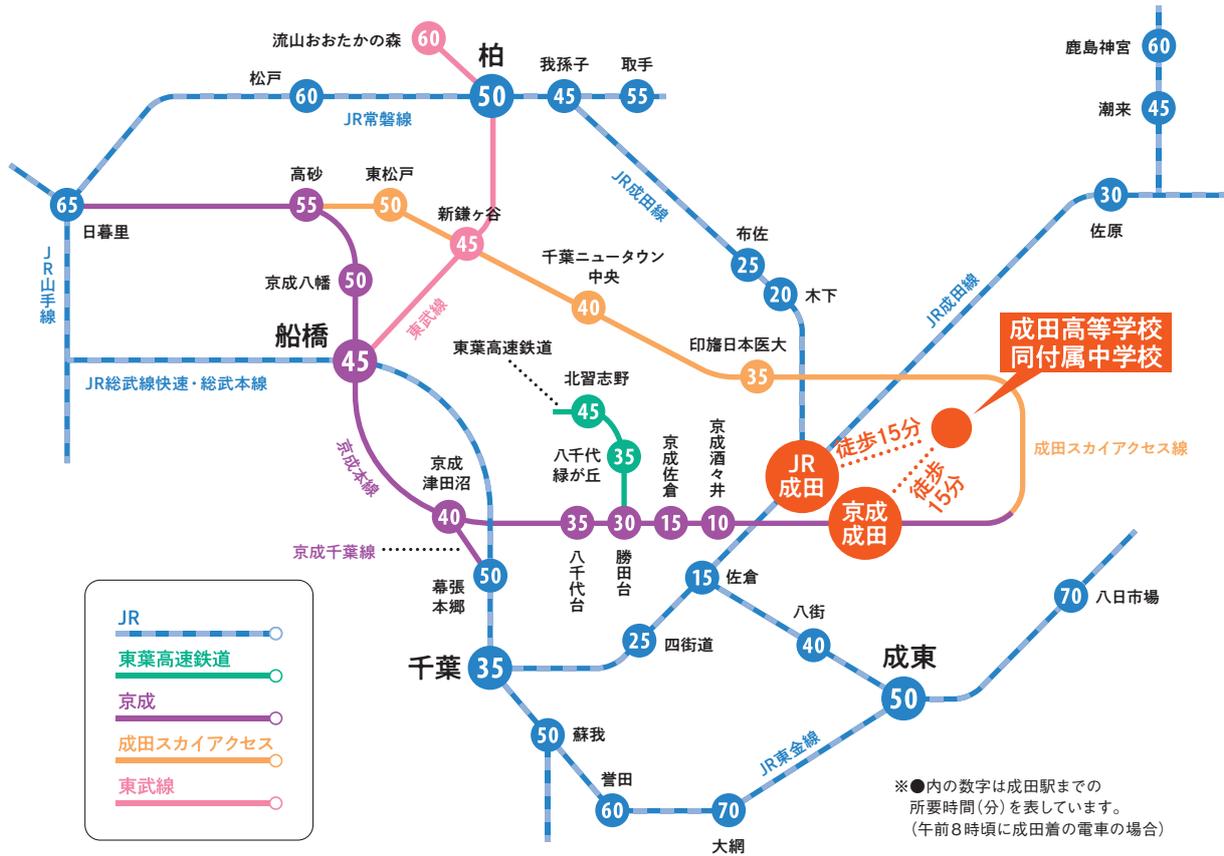
〈令和7年度入試〉

| | 特進a | 進学 | | |
|-----------|---------|-----------|------|-----------|
| 募集人員 | | 150 | | |
| 志願者 | | 574 | | |
| 受験者(A) | | 574 | | |
| 合格者(B) | 220 | 159 | | |
| 実質倍率(A÷B) | 2.6 | 2.2 | | |
| 合格最低点 | 208(※1) | 187(※2) | | |
| 教科別合格者平均点 | 特進a | | 全合格者 | |
| | 国語 | 72.5 | 国語 | 69.3 |
| | 数学 | 79.2 | 数学 | 74.0 |
| | 英語 | 69.0 | 英語 | 64.3 |
| | 合計 | 230.5(※1) | 合計 | 217.6(※2) |

※1 特進aの合格最低点及び平均点の合計は英検所持者の加点を含んだ点数です。

※2 進学クラスの合格最低点及び平均点の合計は本校第一志望者及び英検所持者への加点を含んだ点数です。

通学区と各駅から最寄り駅までの時間 (分)



学校法人 成田山教育財団

成田高等学校

〒286-0023 千葉県成田市成田27
 TEL.0476-22-2131 FAX.0476-23-0234
 E-mail : nyusi@narita.ac.jp
<https://www.narita.ac.jp>
 最新情報はニュースをご覧ください。

●JR成田駅・京成成田駅
 徒歩約15分



学校説明会

要予約

[すべてWebで受付] 定員になり次第締め切らせていただきます。
 ※日程等に変更がある場合は本校HP上でお知らせします。

学校説明会(現地・一部録画配信) ※8月は部活動見学も実施

葉牡丹祭(文化祭)

第1回 令和7年
8/1(金)

第2回 令和7年
8/20(水)

第3回 令和7年
11/1(土)

令和7年
9/6(土)

一般公開(予約不要)

▼詳しくはこちらから



学校紹介ページ



学校説明会予約ページ

夕方の学校見学会(校内施設見学・部活動見学) ※説明会は実施しません

第1回 令和7年
11/11(火)

第2回 令和7年
11/13(木)

第3回 令和7年
11/14(金)



高校部活動紹介



Instagram